



2016-2017年度R.I. テーマ



「夕映え」写真提供：長田 達明 会員



# 人類に奉仕する ロータリー

◆会長 三浦 茂 ◆幹事 南 勇人 ◆発行 会報委員会 4月担当 原

## 第2403回例会 4月18日(火)

- ◆点鐘 三浦 茂 会長
- ◆司会 南 勇人 幹事
- ◆ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- ◆会長挨拶
- ◆出席報告 (森本委員長)
  - ・出席率 会員29名中(出席免除者1名) 16名 57.14%
  - ・欠席者 芦崎さん、畠山君、原君、石崎君、木下君、小林君、宮崎君、佐々木君、鈴木君、関君、富川君、吉田君の諸君
  - ・前々回 (2401回) の修正 なし
- ◆ニコニコボックス

今週までの合計額 481,000円



## 第2404回例会 4月25日(火)

- ◆点鐘 三浦 茂 会長
- ◆司会 南 勇人 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

### ☺☺ ハッピーバースデー ☺☺

- ・4月27日 柴 垣 夫人
- ・5月3日 鈴 木 夫人

- ◆会長挨拶
- ◆出席報告 (森本委員長)
  - ・出席率 会員29名中(出席免除者1名) 18名 64.28%
  - ・欠席者 芦崎さん、原君、石崎君、久津谷君、窪田さん、小林君、宮崎君、佐々木君、横谷君、吉田君の諸君
  - ・前々回 (2402回) の修正 なし
- ◆ニコニコボックス
  - ・慶野達二君：ゴルフ同好会のコンペで優勝しちゃいました。一緒に廻ってくれた横谷さん、清河さん、宮崎さんと楽しくプレーが出来ました。
  - ・慶野達二君：労災病院のロータリー文庫で使っていた本棚をゆずってもらい、我家で大切に使用させていただきます。
  - ・扇谷一朗君：一. 魚津西ゴルフ大会 沢山の参加、有難うございました。

創立1968年 (昭和43年) 5月27日 [第2610地区内創立順位19]

例会：火曜日 12:30 於. にいかわ信用金庫本店5 F TEL(0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL(0765) 22-0715

- 一. 公安委員長任期、無事修了しました。
- ・南 勇人君：先日のゴルフコンペにて人生初のバーディーが生まれて、大変たのしい一日をすごす事が出来ました。ありがとうございました。
- ・柴垣尚一君：村木公民館にて使用いたします（ロータリー文庫本棚）
- ・三浦 茂君：おかげさまで本棚が完売しました。

今週までの合計額 518,000円

#### ◆ 幹事報告

- 荒井学園新川高等学校より
  - ・入学式祝辞の御礼
- 魚津市交通センターより
  - ・理事会（総会）の開催について
- 国際ロータリー日本事務局より
  - ・2016年手続き閲覧 誤表記のお詫びと訂正
- ガバナーエレクト事務所より
  - ・6/11：2017-18年度国際青少年交換委員長会議開催のご案内
- ロータリー米山記念奨学会より
  - ・ハイライトよねやま205
- ガバナー事務所より
  - ・【アンケートご協力お願い】2020年日本のロータリー100周年に関するアンケート
- 魚津市暴力追放運動推進協議会より
  - ・平成29年度魚津市暴力追放運動推進協議会総会開催について
- 魚津市『社会に学ぶ十四歳の挑戦』事業推進委員会より
  - ・魚津市『社会に学ぶ十四歳の挑戦』趣意書
- 魚津しんきろうマラソン実行委員会より
  - ・第37回魚津しんきろうマラソンの協賛について（お礼）
  - ・第37回魚津しんきろうマラソン大会役員への委託について（ご依頼）
- 魚津市・魚津市ゴルフ協会より
  - ・第36回魚津市民ゴルフ大会

#### ☆ 5月度例会案内

	活動内容	例会場
5/2(火)	休 会	
5/9(火)	卓話担当：横谷君（変更） 理事会	信金5階
5/16(火)	会合（細則の見直しについて） Rの友・R情報	信金5階
5/23(火)	夜間例会	喜 楽
5/30(火)	卓話担当：吉野さん	信金5階

#### ★ 5月のSAA補助

木下君・加納さんの諸君です。よろしくお祈りします。

#### ◆ 卓 話 「日本の国歌」



慶 野 達 二 君

毎年5月に立山山麓でロータリーの留学生のためのウィークエンドミーティングと一泊でお楽しみ会を行います。今年も5月13・14日に行います。

アメリカ・カナダからの留学生は来日して約9か月。オーストラリアは4か月。日本語も覚え、日本の生活にも慣れ十分にエンジョイしている頃です。

昨年の夜のキャンプファイヤーでアメリカ・カナダ・オーストラリアからの留学生とこれから出発する日本からの派遣留学生にそれぞれの国歌を歌ってもらいました。

日本の高校生は弱々しく小さな声で歌いますが、外国からの高校生は大きな声で元気よく歌います。

特にアメリカはUSA USAと掛け声をかけた後、楽しそうに歌ってくれました。

私たちの世代は国歌を歌うことに躊躇しませんが、日本の若い子たちは国歌を歌うことが身についていません。日頃より残念に思うところです。

国歌の起源、意味合い等、どのようなことなのか私より詳しい方はたくさんおいでだろうと思いますが、この機会に少し話させて下さい。

ある人たちからは国歌は戦前回帰だということで反対されます。が…そうでしょうか。

千年前の古今和歌集の中の一首から明治13年に宮中の雅楽員がメロディーをつけ、ドイツ人が編曲したのが始まりだそうで、内容は私たちの世が時代を超えて千年・万年と永遠に結束して、協力して固い絆を結び付けていこう。と、歌っているそうです。

解釈は人によって様々ですし、今もいろいろな説が言われていますが、天皇崇拝というよりは、この平和な国が未永く続くようにとの願いが込められているように思います。

世界各国の国歌はもっともっと激しく、自分たちの国は戦って勝ち取ったという色合いがあります。それと比べてみても日本の国歌はなんと穏やかで崇高な精神が歌われていると感じます。

また、別の機会に学びの森音楽実行委員会のお世話をされていて、音楽の先生方と話す機会があります。

あるとき「君が代」が話題になり、こんな話を聞きました。

「君が代」は音楽を専門するものからは、音楽性がそんなに高い作品ではない。音楽的見地からすれば、第二国歌と言われた「海ゆかば」は高く評価ができると聞きました。

準国歌扱いされ、1937年に信時潔が作曲しました。

大本営発表のときや部隊の玉砕を伝える際、冒頭に流されましたので、年配の人たちには旋律の美しさと悲しみが重なって思い出されるかもしれません。